

生ゴミ堆肥システムについて

1 青木先生のこの問題に対する、科学者からの見地

大津市の旧志賀町域約 1 万世帯のうち約 40%近い世帯が生ゴミの堆肥化活動に参加している。
この活動は、いまだ滋賀県で 2 地域でおこなわれているのみです。
まずは、滋賀県からでも更に普及していけば、無駄な税金の燃料代への消失がなくなり、できた堆肥が利用でき、循環社会への意識が広まると思います。
日本全国、一人一日、約 300g の生ゴミを出し、海外からの燃料を輸入して燃やしています。
生ゴミは、その重量の 70-80%が水分と言われています。水分を蒸発させ、これを燃やすために、ばく大な燃料(お金)が毎日、消えていっています。
それこそ、国は、このような安い施設を国中につくれば、
と思いますが。それで就業者も増えて、一石何鳥も、国は貢献でき、国民も本当に喜ぶますのにね。